



教育支援室だより

八幡浜市教育委員会
教育支援室 ☎21-6864
sien1@yawatahama.ed.jp
令和4年2月1日発行

「やる気」スイッチの入りにくい子どものために

教育支援室室長 甲野 正人

新しい年2022年が明けました。みなさんは、どのような新年を過ごされましたか。私の新年は、ある小学生の「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。」と、爽やかなあいさつでスタートしました。子どもから元気をもらった一年のスタートとなりました。また、あいさつは、相手を気持ちよくさせてくれる魔法の言葉だということに改めて感じたところです。



さて、皆さんは「マシュマロテスト※」という実験をお聞きになったことはありますか。これは、幼児に「マシュマロを今一個もらう？それとも、今は我慢しておいて、後で2個もらう？」と質問し、どちらを選択するかを見る実験です。この実験の結果、我慢して、倍のマシュマロを手に入れるという長期的な利益を選択した子どもの方が、将来社会に出て活躍できていたということが分かりました。

親御さんから、子どもの「やる気」スイッチがなかなか入らないという相談を受けることがあります。目標を達成する力を育てるためには、やりたくなくても、我慢してそれをやることによって、自分によりよいことがあるという関係を見つけさせるとよいと言われています。参考にさせていただければ幸いです。

次に、練習用の課題を2つ挙げてみました。親子で、「やる気スイッチ」の入れ方を話し合ってみませんか。

※ アメリカの心理学者ウォルター・ミッシェルが行った実験

- 課題1 「眠いのを我慢して、早起きする」
早起きすると → やりたいこと () ができる。
いやなこと () がなくなる。
- 課題2 「遊びたいのを我慢して、宿題をする」
宿題をすると → やりたいこと () ができる。
いやなこと () がなくなる。

ペアレント・トレーニング (全7回)

今年度の新規事業として、「ペアレント・トレーニング」を実施しました。「ペアレント・トレーニング」は、子どもとのよりよいかかわり方を学びながら、日常の子育ての困りごとを解消し、楽しく子育てできるよう、プログラムを通して学習することを目的としています。

講師に宇都宮千夏先生(臨床心理士・認定心理師)をお迎えし、6名の保護者が全7回を受講されました。回を重ねるごとに、保護者の方の笑顔が増え、子育てに悩みながらも前向きに取り組まれる姿がありました。

今回の6名は第一期修了生となります。来年度は第二期生を募集する予定です。



SST夏休みイベント「クレイセラピー (信楽焼)」

昨年8月、「クレイセラピー」を行いました。本市の毛利希先生を講師に迎え、親子13人が参加しました。粘土をこねて、平らになるまで手でたたいて麺棒でのばしました。平らになったら、マグカップの部品に切り取って、形を整え、最後に取っ手をつけて完成です。作品は毛利先生が持ち帰られ、釉薬を塗り、窯で焼いていただきました。

右の写真は、後日届いた完成作品です。どれも信楽焼独特の重厚なマグカップに仕上がりが、感動しました。好評で、来年度も是非行ってほしいとの声があがり、早速、毛利先生に、来年度も講師をお願いしました。お楽しみに！



今年度の教育支援室活動状況 (1月末現在)

【支援室相談事業】

- 電話相談 343回
- 来室相談 136回
- 訪問相談 254回
- 巡回相談(保前・幼稚園等) 104回
- 発達検査 27回
- カウンセリング 17回
- 放課後等療育支援 54回



【いじめ・不登校、特別支援等の実態把握】

- 定期学校訪問 34回
- アンケート調査及び結果の分析・公表 1回
- 市・各ブロックいじめ対策委員会 14回
- 発達障がい支援アドバイザー学校訪問 35回

【療育・教育相談】

- 講師 上岡一世氏 (元愛大教授) 2回 4組
- ※ 次回 3月4日(木) 13:30~ 講師(教育支援室対応)

【発達支援に関する講演会】10月3日(土) 参加者 81人
演題 「作品は息子のことば」

~発達障がいのわが子と歩んで~

講師 石村和徳さん、石村嘉成さん (新居浜市在住)

【学校生活支援員新任者等研修会】4月1日(金) 参加者 12人
8月30日(月) 参加者 3人
12月22日(水) 参加者 1人

【学校生活支援員研修会】8月30日(月) 参加者 44人
講話 「よりよい支援のために」※オンライン研修
講師 中川紀子氏 (親の会パスレル代表)

【市教育相談員等研修会】11月12日(金) 参加者 15人
演題 「おおずふれあいスクールの取組と不登校児童生徒の支援について」
講師 山内あゆみ氏 (おおずふれあいスクール教育相談員)

【SST (ソーシャルスキルトレーニング)】

- 生活スキル・スポーツスキル 3回 36人
- アートセラピー 1回 19人
- クレイセラピー (信楽焼) 1回 18人

【ミュージック・ケア】(音楽療法) 3回 29人
※ 次回 2月5日(土) 10:00~

【にこにこみかんトーク】(保護者座談会) 3回 16人

【きりんカフェ】 4回開催
※ 次回 2月18日(金) 10:00~

【ペアレント・トレーニング】(全7回) 6人

「きりんカフェ」のご案内

(登校しづらいお子さんを持つ保護者の会)

お子さんが登校を渋り、休みがちになって悩んでおられる保護者の皆さん、「きりんカフェ」に参加してみませんか。今回は、お子さんの成長の岐路に立つ進学や進級を前にして、本人はもちろん、保護者にとっても新たな心配や不安があるのではないかと思います。同じ悩みを持つ保護者が集い、お茶でも飲みながら気軽にお話しませんか。ご参加をお待ちしています。



- 1 期 日 令和4年2月18日(金) 10:00~11:30
- 2 会 場 八幡浜市役所保内庁舎1階 教育支援室
- 3 申込み 当日までに、電話またはメールでお申し込みください。
電話 21-6864
メールアドレス sien1@yawatahama.ed.jp

発達支援に関する講演会「石村和徳さん・嘉成さん」

10月3日(日)、石村和徳さん・嘉成さんをお迎えして、「作品は息子のことば ～発達障がいのおわが子と歩んで～」と題して講演会を開催しました。会場には、嘉成さんの絵画や版画作品の他に、毎日つけている絵日記十数冊の展示もあり、力強いタッチと独自の色彩感覚で描かれた昆虫や動物の世界に引き込まれました。また、版画のライブドローイングや講演後には作品集と書籍販売、サイン会なども行われました。

嘉成さんは、2歳の時に自閉症と診断されました。暴れる、泣きわめく、発語がない…、そんな状態の中で、母親有希子さんの懸命の子育て「療育」で成長していきましたが、11歳の時に有希子さんは他界。その後、父親和徳さんが、「わが子を『暴君』にしない『愛情あふれる、突き放し』という亡き母親の思いを継いで苦闘の子育てを続けました。嘉成さんは、高校生の時に授業で描いた版画が評価され、その後、フランスのコンクールで受賞するなど、世界に羽ばたく存在となりました。

なお、この「療育」が花開いた感動の物語が書かれた書籍『自閉症の画家が世界に羽ばたくまで』(扶桑社)が、8月に刊行されています。(教育支援室文庫で貸出しています)

以下に、講演会に参加された方の感想の一部を紹介します。

- 息子と嘉成さんがとても似ていて、私にとって「希望」になりました。本当に来ていただき、会えてよかったです。(保護者)
- 「自閉症の…」ではなく、既に立派で、とても魅力的な芸術家だと思います。和徳さんのガンのたとえから「まだ小さいから様子を見たら？」は危険な言葉であり、早期支援の大切さを理解しました。(教員)
- すばらしい講演会でした。和徳さんの「特性発達」という呼称は腑に落ち、この言葉が普及すると良いと思いました。また嘉成さんの「自閉症のアーティスト」ではなく「アーティスト」と言われたというお言葉も印象的でした。ライブドローイングも素晴らしかったです。貴重な機会をありがとうございました。(保護者)
- 嘉成さん自身が語ってくれたはじめの言葉が、とても胸に響きました。お母さんの思いを考えると胸が痛みました。以前、TV番組のドキュメンタリーを見ました。その時に、作品を見てみたいと思っていたので、本物の作品を見ることができ、とてもうれしいです。学校では、「子どもに生きる力をつけてやってほしい。」の言葉が心に残りました。(教員)



楽しく学んだSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)

SSTでは、発達に支援が必要な子どもたちが、苦手を克服し、やる気を引き出す活動を体験しながら必要なコミュニケーション能力を身に付けていくことを目指しています。

本年度は、次のとおり3回の活動を行いました。

- ① 7/3 生活スキル
- ② ~~8/19 学校スキル~~ (中止)
- ③ 11/13 スポーツスキル
- ④ 12/25 スポーツスキル

第2回の「学校スキル」は、新型コロナウイルスの感染対策期となったため、残念ながら中止しました。

第4回では、視覚障がい者スポーツのブラインドサッカーを体験しました。子どもたちは目隠しをして、タンバリンやハンドベルの音のなる方向に向かって動いていく練習から始めました。そして、転がると鈴のような音のする専用のボールを使って、スタッフの声掛けや補助を受けて恐る恐るボールを蹴り、ドリブルの体験もしました。最後に、一人一人順番にゴールに向けて蹴り込みました。ゴールが決まるたびに、参加者みんなが歓声を上げ盛り上がりました。

コロナ下の中、対策を講じながら実施してきましたが、参加してくれた子どもたち、保護者の皆様、ありがとうございました。そして、スタッフとしてご協力いただきました先生方、本当にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願ひします。

[第3回スポーツスキルの様子]



[第4回スポーツスキルの様子]



増加傾向にある支援を要する子どもや、家庭・学校をサポートしていきます。
教育支援室(保内庁舎1階) 困ったことがあったら、いつでもご相談ください。

- | | |
|---|---|
| ☆ 電話相談・来室相談 (八幡浜市教育委員会教支援室)
☎ 0894-21-6864 月～金 8:30～17:00 | ☆ 八幡浜いじめ110番 (八幡浜市教育委員会教支援室)
☎ 0120-805-415 月～金 8:30～17:00 |
| ☆ 心の悩み相談 (八幡浜市保健センター 成人保健係)
☎ 0894-24-6626 月～金 9:00～17:00 | ☆ 警察安全相談 (八幡浜警察署)
☎ 0894-22-0110 24時間受付 |
| ☆ いじめ相談ダイヤル24 (愛媛県教育委員会)
☎ 0120-0-78310 24時間受付 | ☆ こどもの人権110番 (法務局)
☎ 0120-007-110 月～金 8:30～17:15 |
| ☆ 18歳までのチャイルドライン(チャイルドライン支援センター)
☎ 0120-99-7777 まいにち 16:00～21:00 | ☆ 児童相談所全国共通ダイヤル(厚生労働省)
☎ 189 (いちばやく) 児童虐待通報電話 24時間受付 |

